

最上町バイオマス産業都市構想の概要

山形県最上町、人口 約 1 万人、面積 約 3.3 万 ha

構想の概要

町域内の間伐材等を燃料として利用したエネルギー創出により、町の医療・福祉・保健施設への地域熱供給システムを充実させ、さらに多様なバイオマスを活かした産業創出が、若者の定住を支える未来環境創造都市を目指す。

1. 将来像

- ①森林系バイオマスによる医療・福祉・保健施設等への地域熱供給システムのさらなる充実と、関連産業が発展し活気づく町
- ②多様なバイオマス利用を契機として、関連産業が連携し、地域特性を活かした新しい産業が生まれる町
- ③環境にやさしく、安心・安全で若者の定住を支える未来環境創造都市

3. 目標

- ①森林系バイオマス：現状では森林の年間成長量の約9%程度の利用率を、40%程度に高める。
- ②農業系バイオマス：町内の野菜生産農家のニーズに応えられる家畜糞尿による良質な堆肥生産を目指す。利用率目標100%。現在利用されていない圃場残渣や出荷残渣の利用率を22%にする
- ③廃棄物系バイオマス：現在利用されていない生ごみや食物残渣は、利用率20%を目指す

5. 実施体制

全体実施状況の検証や評価を行う「最上町バイオマス産業都市構想推進委員会」の下で、プロジェクト遂行のために「推進本部」を庁内総務課まちづくり推進室に設置する。また、プロジェクトごとの関係団体等からなる組織を立ち上げ、推進本部と連携協力し、学識経験者等の協力指導を受けながら事業化を進める。

2. 事業化プロジェクト

- ① 森林系バイオマス高度利用プロジェクト
燃料生産システム・地域熱供給システム・発電システム
- ② 農業系バイオマス循環利用プロジェクト
圃場残渣固形化燃料利用・堆肥センター
- ③ 廃棄物系バイオマス循環利用プロジェクト
メタン発酵プラント

4. 地域波及効果

- ①地域波及効果：1,379百万円
- ②雇用創出効果：23人
- ③バイオマスエネルギーによる化石燃料代替量
電気：7000Mwh/年 熱：658Tj/年
- ④森林の保全等

6. その他

- ・最上町スマートコミュニティ構想(H25)
- ・最上町第4次総合計画(H23)
- ・最上町環境基本計画(H17)

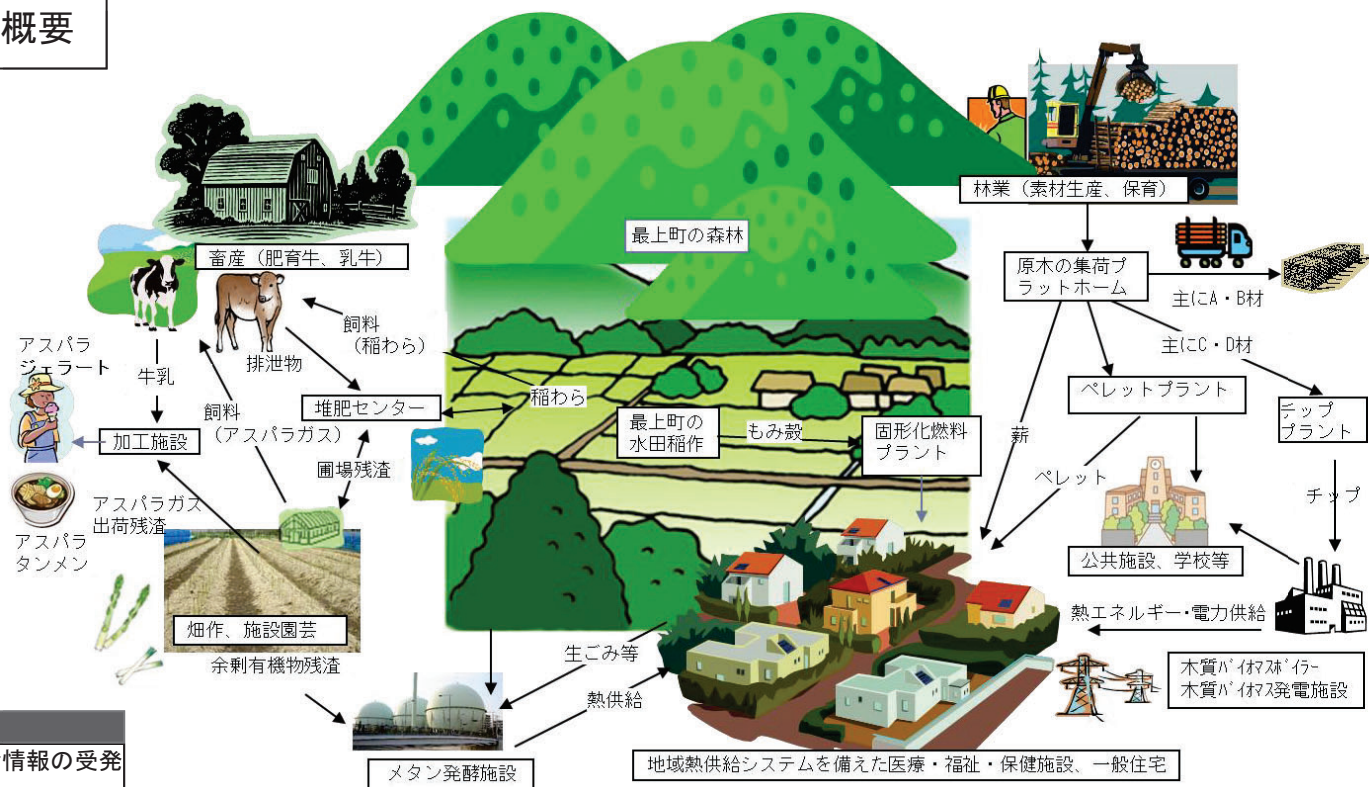
最上町バイオマス産業都市構想の概要

目指す町の将来像

■森林系バイオマスによる医療・福祉・保健施設等への地域熱供給システムの更なる充実と関連産業が発展し、活気づく町

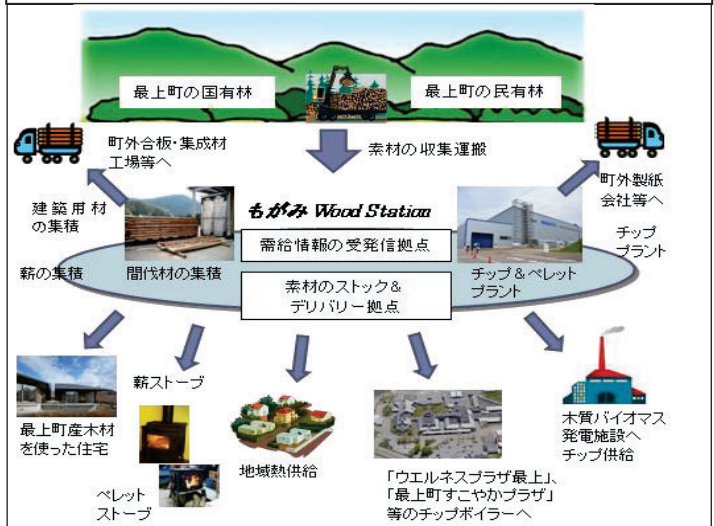
■多様なバイオマス利用を契機として、関連産業が連携し、地域特性を活かした新しい産業が生まれる町

■環境にやさしく、安心・安全で若者の定住を支える未来環境創造都市



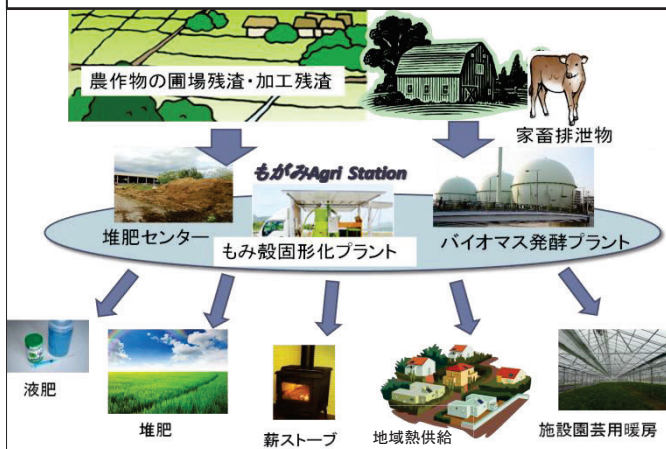
■森林系バイオマス高度利用プロジェクト

- 森林系バイオマスの総合的なカスケード利用と需給情報の受発信のための拠点の整備 (もがみ Wood Station)
- 森林系バイオマス及び農業系バイオマスを利用した地域熱供給システムの増設
- 森林系バイオマスを利用した木質バイオマス発電施設の整備



■農業系バイオマスの循環利用プロジェクト

- もみ殻を再利用した燃料用固形燃料製造の事業化
- 良質堆肥を製造する堆肥センターの整備 (もがみ Agri Station)
- メタン発酵によるエネルギー利用システムの構築



■廃棄物系バイオマス循環利用プロジェクト

- 廃棄物系バイオマスのエネルギー転換における事業化 (もがみ Bio Station)

